

CGFA 2025 フジパン CUP 第 49 回 中国 U-12 サッカー大会
開催要項

1. 趣旨 子どもたちが、サッカー競技を通して身体を鍛え、フェアプレーの精神を培い、正しく力強く生きることを願って開催する。
2. 主催 一般社団法人中国サッカー協会
3. 主管 一般社団法人中国サッカー協会第 4 種委員会・一般社団法人山口県サッカー協会
一般社団法人山口県サッカー協会第 4 種委員会
4. 特別協賛 フジパングループ
5. 協賛 sfida
6. 後援 山口県・山口市・山口市教育委員会・日刊スポーツ・広島ホームテレビ
7. 協力 瀬戸内海放送・山口朝日放送・山陰放送
8. 期日 2025 年 7 月 19 日(土)～7 月 21 日(月・祝)
7 月 3 日(水) 19:00～ 監督会議(web) ※開会式は行わない
7 月 19 日(土) 12:00～ 選手集合完了(山口きらら博記念公園
サッカー・ラグビー場、スポーツ広場)
(受付後、12:30 までに各チーム、ユニフォーム着用の上、集合写真完了)
13:30～ Kick off(サッカー・ラグビー場、スポーツ広場)
17:10 第 4 試合終了予定
7 月 20 日(日) 9:30～ Kick off (サッカー・ラグビー場、スポーツ広場)
15:30～ 第 4 試合 Kick off(サッカー・ラグビー場、スポーツ広場)
16:20 第 4 試合終了予定
7 月 21 日(祝) 9:00～ Kick off(サッカー・ラグビー場、スポーツ広場)
11:30～ 決勝戦 (サッカー・ラグビー場)
12:50～ 閉会式予定 (サッカー・ラグビー場)
※ 雨天・荒天の場合はドーム内で実施
9. 会場 7 月 19 日(土)～7 月 21 日(月・祝)
山口きらら博記念公園(サッカー・ラグビー場、スポーツ広場)
(〒754-1277 山口県山口市阿知須 10509-50 TEL(0836)65-6900)
10. 参加資格
(1) 「参加チーム」は、大会実施年度に(公財)日本サッカー協会第 4 種に加盟登録したチーム(以下「加盟チーム」)であること(準加盟チームを含む)。

- (2) 上記「参加チーム」の構成は、単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通じて継続的に活動していること。
- (3) 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手であること。
- (4) 各県大会(地区大会を含む)から中国大会に至るまでに、同一「参加選手」が異なる「加盟チーム」への移籍後、再び参加することはできない。
- (5) 「参加チーム」及び「参加選手」は、各県協会の推薦を受けたチームであること。当該チームの県大会への登録選手数が 16 名に満たない場合は、「加盟チーム」内の選手から補充することができる。
- (6) 「参加選手」は、(公財)日本サッカー協会の発行した「加盟チーム」の選手証(写真貼付されたもの)を持参し(JFA キックオフシステムより出力した選手証・登録選手一覧表を印刷したもの)選手資格確認を受けること。
- (7) 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。
上記指導者の内1名以上が JFA 公認コーチ資格(D 級コーチライセンス(サッカー)以上)を有し、原則大会期間中帯同すること。
- (8) 「参加選手」は健康であり、且つ保護者の同意を得ること。
- (9) 「参加チーム」は必ず傷害保険(スポーツ安全傷害保険)に加入していること。

11. 参加チーム及び構成

- (1) 中国 5 県より 16 チーム。(開催県山口県は 4 チーム、他の県は 3 チーム。)
- (2) 「参加チーム」の構成は、選手 16 名以内、引率指導者 2 名以上 3 名以下とする。

12. 大会形式

- (1) 16 チームを同県が同グループにならないように考慮し 4 つのグループに分け、グループ毎に総当たりのグループリーグ戦を行う。
- (2) グループリーグにおける順位の決定方法は、勝利 3 点、引分 1 点、敗戦 0 点の勝点により、勝点の多い順に決定する。なお、勝点の合計が同一の場合は、以下の項目に従い順位を決定する。
 - ① 全試合の得失点差(総得点－総失点)
 - ② 全試合の総得点
 - ③ 当該チーム同士の対戦成績(勝敗)
 - ④ ①～③の全項目において同一の場合は、該当チームでのペナルティーキック方式により決する。
- (3) グループリーグにおける順位決定後、
各グループ上位 2 チーム合計 8 チームによる決勝トーナメント戦を行う。
下位の 2 チームはそれぞれフレンドリーマッチを行う。(2日目、3日目各1試合)
※フレンドリーマッチのグループでは、同県同士が対戦しないように、中国 4 種委員会で調整を行う。

- (4) 決勝トーナメント戦において、時間内に勝敗が決しない場合は PK 方式により勝敗を決する。
延長戦は、行わない。

13. 競技規則 開催年度(公財)日本サッカー協会「8 人制サッカー競技規則」による。

14. 競技のフィールド

- (1) フィールドの表面は、天然芝・人工芝とする。(今年度は、全コート天然芝で開催)
(2) フィールドの長さ(タッチライン)は 68m 以下、幅(ゴールライン)は 50m 以下とする。
(3) ゴールポストの間隔は 5m、クロスバーのグラウンドからの高さは 2.15m とする。
- | | |
|---------------|--|
| ・ペナルティーエリア | 12m |
| ・ペナルティーマーク | 8m |
| ・ペナルティーアークの半径 | 7m |
| ・ゴールエリア | 4m |
| ・センターサークルの半径 | 7m |
| ・交代ゾーン | 自由な選手交代のため、ベンチ側のタッチラインのハーフウェーに 6m の交代ゾーンを設ける。(ハーフウェーラインを挟んで 3m ずつ) |

15. 試合球 株式会社イミオ sfida (VAIS GIOCARE JR・SB-23VG03)4 号球を使用する。(未定)

16. 競技者の数および交代

- (1) 1 チーム 8 人の競技者によって行われる。チームの競技者のうち 1 人はゴールキーパーとする。
(2) 登録できる交代要員および交代の最大人数は 8 名とし、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されない。
(3) 本大会においては、8 人に満たない場合は試合を開始しない。試合は常に 8 人対 8 人で行うこととする。怪我等でピッチ外に出る場合は、必ず補充してから試合を始める。試合中に怪我等により交代要員がいなくなり 8 人に満たなくなった場合は、そのまま続行する。
ただし、一方のチームが 6 人に満たない場合は試合を開始せず、相手チームの 3-0 の勝利とする。

(4) 交代の手続き

交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。

交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。

交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。

(注)ただし、交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。交代について、主審、補助審判の承認を得る必要はない。

ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。

17. 競技者の用具

(1) 競技者の用具・ユニフォーム

- ①(公財)日本サッカー協会のユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
- ②本競技会に登録した正・副 2 組のユニフォーム(シャツ・ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
- ③正・副の 2 色については明確に異なる色とする。
- ④審判員は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- ⑤前項の場合、審判員は、両チームの各 2 組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
- ⑥ユニフォームのデザイン、ロゴが異なっても、本競技会主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる。
- ⑦ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
- ⑧アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- ⑨アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- ⑩J クラブアカデミーのチームについては、公益社団法人日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)のユニフォーム要項に認められたユニフォームであれば使用を認められる。ただし一部でも仕様が異なる場合は認められない。ユニフォームへの広告表示については本号⑮に準じる。
- ⑪ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ソックス)については、正の他に副として、正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームを参加申込書に記載し、各試合に必ず携行すること(FP・GK 用共)。本協会に登録されたものを原則とする。
- ⑫シャツの前面・背面に参加申込の際に登録した選手番号を付けること。ショーツの選手番号についてはつけることが望ましい。
- ⑬選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する。
- ⑭ユニフォームの色、選手番号の参加申込締切日以後の変更は認めない。
- ⑮ユニフォームへの広告表示については、(公財)日本サッカー協会第 4 種大会部会が別途定める規定に基づくものでなければならず、2025 年 6 月 20 日(金)までに本協会に承認された場合にのみ認められる。
※本協会ユニフォーム規程第 10 条において適用除外を受けた日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)に所属するクラブの下部組織のチームは、当該クラブのトップチームと同一のユニフォーム広告を掲示することが認められる。但し、アルコール等、未成年チームにふさわしくない広告については除外する。
- ⑯フィールド上にアームバンド等を着用したキャプテンがいることを必須としない。

18. テクニカルエリア

- (1) テクニカルエリア(ベンチ)に入ることができる人数は、交代要員 8 名、引率指導者 2 名以上 3 名以下とする。ベンチ入りするチーム役員の内 1 名以上がJFA公認コーチ資格(D 級コーチライセンス(サッカー)以上)を有し、ID カードに入れ携帯すること。
- (2) その都度ただ 1 人の引率指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。

19. 審判員

グループリーグおよびフレンドリーマッチについては 1 人の主審と補助審判が指名される。
決勝トーナメントについては 1 人の主審と 2 人の副審と第 4 の審判員が指名される。
フレンドリーマッチにおいては対戦チームの帯同審判にて実施する。(審判服着用)
(但し、今年度は、フレンドリーマッチも含め、全試合山口県で対応する予定。)

20. 試合時間

- (1) 予選リーグ及びフレンドリーマッチの試合時間は、前・後半とも15分間とし、ハーフタイムのインターバルは(前半終了の笛から後半開始まで)は最長 10 分間とする。
準々決勝戦・準決勝戦・優勝戦の試合時間は前・後半とも 20 分間とし、ハーフタイムのインターバル(前半終了の笛から後半開始まで)は最長 10 分間とする。
- (2) 規定の試合時間内に勝敗が決しない場合
グループリーグ、フレンドリーマッチ;引き分けとする。
決勝トーナメント戦(決勝戦まで);ペナルティーキック方式により勝利チームを決定する。延長戦は行わない。
ペナルティーキック方式に入る前のインターバル;原則 1 分間
- (3) 暑熱下において、前・後半中程に飲水タイム及びクーリングブレイクを採用する。
その他、暑熱対策については、JFA 暑熱対策ガイドラインに従う。
- (4) 試合の勝者を決定する方法
 - ・ペナルティーキック方式において、両チーム 3 人ずつの競技者がキックを行ったのち、両チームの得点と同じ場合は、同数のキックで一方のチームが他方より多く得点するまで交互に順序を変えることなくキックは続けられる。
 - ・ペナルティーマークからのキックの進行中に、ゴールキーパーが負傷してゴールキーパーとしてのプレーが続けられなくなったとき、氏名を届けられている交代要員と交代することができる。
 - ・上記の例外を除いて、延長戦のある場合はそれを含めて、試合終了時にフィールドにいた競技者にのみペナルティーマークからのキックを行う資格が与えられる。
 - ・資格のある競技者は、ペナルティーマークからのキックの進行中に、いつでもゴールキーパーと入れ替わることができる。その時のユニフォームはそのままでよい。
 - ・試合が終了し、ペナルティーキック方式を行う前に、一方のチームの競技者が相手チームより多い場合、競技者のより多いチームは相手競技者数と等しくなるように競技者数を減らさなければならない。チームの主将は、除外するそれぞれの競技者の氏名と、背番号を主審に通知しなければならない。これによって、除外された競技者は、ペナルティーキック方式に参加することはできない。

21. 懲 罰

(1)大会規律委員会

本大会は、(公財)日本サッカー協会が定める「懲罰規程」に従って、本競技会に係る懲罰問題を処理するため、(一社)中国サッカー協会理事会の決定に基づき大会規律委員会を設ける。

大会規律委員会の委員長は中国サッカー協会第4種委員長とし、委員は委員長が任命する。

(2)警告・退場

- ① 本大会期間中に警告を2回受けた選手は、本大会の次の1試合以上の試合に出場できない。
- ② 本大会において退場を命じられた選手は、本大会の次の1試合以上の試合に出場できず、それ以降の処置については大会規律委員会において決定する。
- ③ 競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- ④ JFA諸規程および本記載事項にない事例に関しては、大会規律委員会にて決定する。

22. 参加申込

- (1) 参加チームは、別紙登録用紙に必要事項を記入の上、所属県協会第4種委員長を通じて6月20日(金)必着で処理を行うこと。

《登録先》〒730-8552 広島県広島市中区白島北町 19-2

広島ホームテレビ事業部内「フジパンカップ 中国サッカー大会」

E-mail: fscup@home-tv.co.jp

TEL:082-221-7116 FAX:082-221-4904

- (2) 登録後の選手変更は原則として認めない。傷病傷害を理由とする参加選手の変更は認めることとし、大会当日受付までに、(一社)中国サッカー協会第4種委員長まで、医師が発行する診断書を添えて申請すること。また、感染症による急な選手変更に関しては、診断書等の提出なしで選手の交代を認める。

23. 参加料

参加料として 10,000 円を 6 月 20 日(金)までに必ず次の口座に振り込むこと。

銀行・支店名 ゆうちょ銀行 五一八

口座番号 普通 5168813

口 座 名 一般社団法人中国サッカー協会 会長 宗政潤一郎

※ 振込手数料につきましては、振込側にてご負担いただきますようお願いいたします。

24. 組合せ

参加申込終了後、事務局において決定する。

25. 表彰

- (1) 優勝、準優勝、3位のチームを表彰する。表彰対象4チームのみ閉会式に参加すること。
- (2) その他、(一社)中国サッカー協会第4種委員会が別途定める規程に基づき、表彰を行うことができる。

26. 大会の中止について

以下の場合、大会前、大会中にかかわらず中止になる可能性がある。

- (1) 山口県知事から、イベント(大会)自粛要請、その他大会中止に関わる要請がでた場合
- (2) 選手等のウイルス感染等による活動制限が発生した場合

※すべての最終判断は、中国サッカー協会・山口県サッカー協会・保健所・山口県、関係各所と相談の上、安全第一を基本に大会本部が決定する。

27. その他

- (1) 本大会の実施に関して、本大会要項に定めのない事項については、(一社)中国サッカー協会第4種委員会が最終的に決定するものとする。
- (2) 協賛社から参加チームへの提供物品については、主催者の指示に従うこと。
- (3) 開会式における選手宣誓は、主管県第1代表「山口県」主将により行うこととする。
ただし、今年度は開会式を行わない。
- (4) 帯同審判員(JFA公認3級審判員以上)を必ず登録すること。
今年度は、全試合山口県で対応するが、不測の事態に備え登録すること。
- (5) 参加チームは、「開会式」および「閉会式」に必ず参加すること。
(今年度は、開会式は行わない。閉会式は表彰4チームのみ出席すること。)
- (6) 選手は必ず「選手証」(JFAキックオフシステムより出力した選手証・登録選手一覧表を印刷したものを持参し、確認を受けること。
- (7) 指導者はライセンス認定証(各チーム1名以上)を持参し、確認を受けること。
- (8) 前年度優勝山口県第1代表は優勝カップおよびフジパンCUPを、前年度準優勝広島県第1代表は準優勝盾を預かり持参のうえ、受付時に返還すること。ただし、該当チームが参加の場合はそのチームが行うこと。

2024年度優勝:REGALO FC 山口 準優勝:レイサッカークラブ

- (9) 移動・宿舎は各チームで対応すること。
- (10) チーム控え場所については、大会運営側で設置する。(やまぐち富士商ドーム内)敷物については各チームで対応すること。
- (11) チーム応援幕の掲出については、各会場の掲出ルールに従うこと。
- (12) 弁当については大会事務局で対応するので、登録の際に別紙にて申し込むこと。
- (13) 雷・地震対応 ①雷(鳴る・光る)が発生した時点で、そのゲームは大会本部の指示により中断する。再開は本部の指示に従う。(雷が収まり、30分以上を目安とする。)再開の見込みが立たない場合は、各県委員長で協議を行い決定する。
- (14) 決勝戦の前にマッチミーティングを行う。(開始時刻と場所については、該当チームに個別に伝えることとする。)

【大会期間中の緊急時間い合わせ先】

第 1 問い合わせ先 大会運営責任者

一般社団法人 山口県サッカー協会第 4 種委員長 水上 哲彦

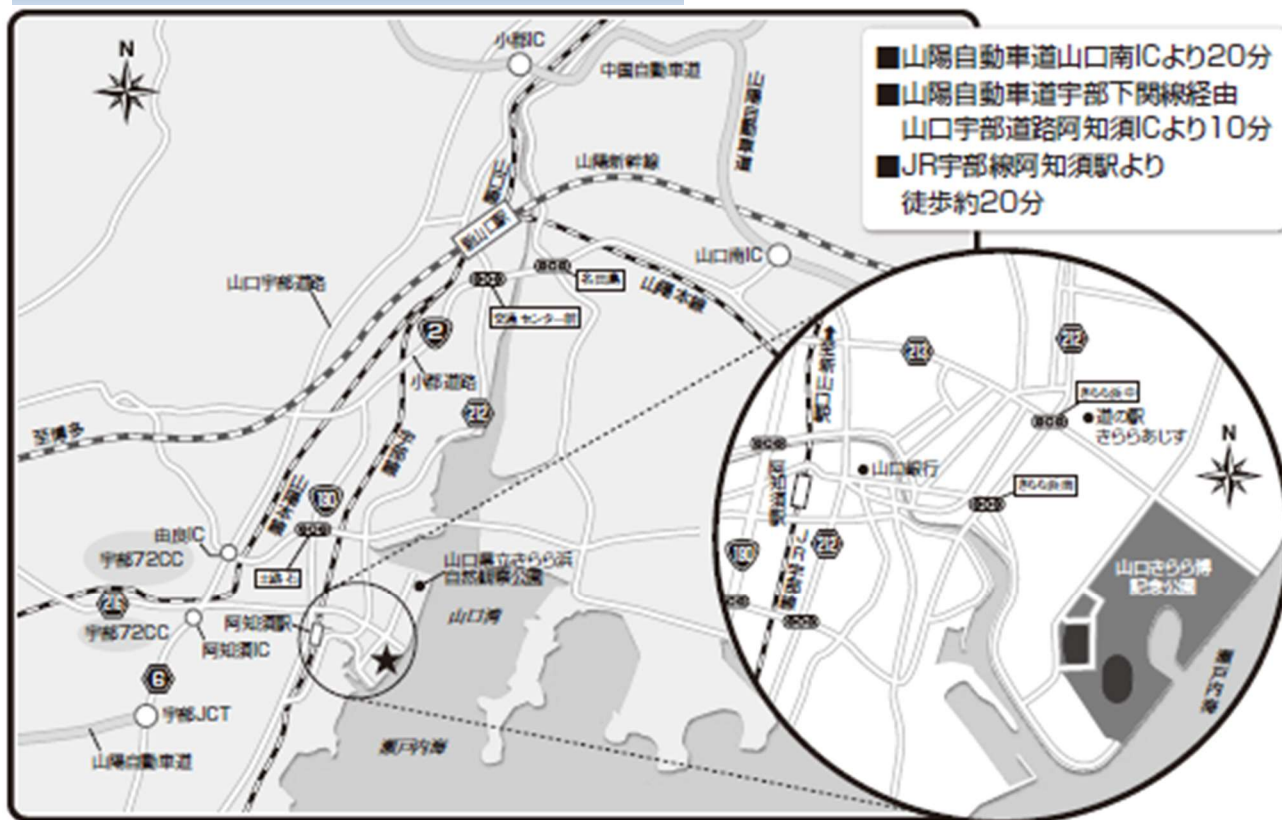
携帯:090-8996-5256

第 2 問い合わせ先 事業統括

一般社団法人 中国サッカー協会第 4 種委員長 東 一哉

携帯:090-2425-4524

2025フジパンCUP ACCESS



試合会場ご案内図

2025フジパンCUP

